

専門職向け HIV 検査に関する Q&A 集の作成

研究分担者	加藤真吾	慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室
研究協力者	川畑拓也	地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所
	井戸田一朗	しらかば診療所
	小島洋子	地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所
	近藤真規子	神奈川県衛生研究所
	貞升健司	東京都健康安全研究センター
	佐野貴子	神奈川県衛生研究所
	須藤弘二	慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室
	高田 昇	中国電力株式会社中電病院
	長島真美	東京都健康安全研究センター
	森 治代	地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所

研究要旨

HIV 検査に携わる医師や病院看護師、検査技師や、自治体の保健師や行政の担当者、NPO/CBO の関係者が日々直面する HIV 検査に対する質問や疑問を解消するため、最新のエビデンスに基づいた「HIV 検査に関する Q&A」集の作成に取り組んだ。

今年度は Q&A 集の質問事項を決定し、編集委員に原稿を依頼した。

A.研究目的

様々な HIV 検査の現場で活用できる、最新のエビデンスに基づいた HIV 検査に関する資料集が無かったので、作成することとした。

B.研究方法

事前に大阪府保健所の検査室担当職員にアンケート調査により検査担当者におけるニーズの調査を実施した。その結果から、質問が多かった点を中心に、資料に盛り込み解説する項目を決定した。また、資料は手に取った者がなじみやすい様、Q&A 集の体裁をとることとした。その後、編集委員で解説項目（質問）を分担し、各質問に対する回答を、文献を引用しながら作成した。

(倫理面への配慮)

Q&A 集の作成には、HIV 陽性者等当事者の人権に十分配慮した。

C.研究結果

採用した質問事項は場面ごとに三章に分けた。第一章の「HIV 検査の基礎知識」としては、

- HIV 検査の手順は？
- 「ウインドウ期」とはなんですか？
- スクリーニング検査の「陽性」「偽陽性」について教えて下さい。
- 確認検査にはどのような方法がありますか？
- HIV 検査で陽性になった場合、どうすれば良いですか？

の 5 項目を採用した。

第二章の「医療機関における HIV 検査」においては、

- HIV 検査の保険適応について教えてください。
- HIV 検査結果に関する情報は、特別な扱いが必要ですか？
- HIV 検査の同意取得はどうすればよいですか？

- ・針刺し等 HIV 暴露事故が起きました！ HIV 検査はどうすれば良いですか？
- ・HIV 確認検査の所要時間は短く出来ないのでしょうか？
- ・郵送検査（HIV 検査キット）とは何ですか？

の 6 項目を採用した。

第三章の「HIV 検査担当者向け」には、

- ・スクリーニング検査の偽陽性率について、教えてください。
- ・HIV 迅速検査試薬の特徴について、教えてください。
- ・HIV 即日検査実施の注意点について、教えてください。
- ・確認検査の方法について、教えてください。
- ・WB 法の結果の解釈について、教えてください。
- ・検査対象集団ごとの陽性率と陽性的中率について教えてください。
- ・HIV 急性感染について、教えてください。
- ・HIV 抗原陽性時の確認検査の進め方について、教えてください。
- ・NAT 検査について、教えてください。
- ・KK-TaqMan 法について、教えてください。

の 10 項目を採用した。

各項目を研究協力者で分担し、文献を集めて執筆した。

D. 考察

現在、集まった原稿の修正等を行っており、次年度早々には原稿を完成し、各方面の確認の後、デザイン・レイアウトを経て印刷の入稿へと進みたい。また、印刷後は全国の保健所や特設検査場に配付したり web に PDF 版を掲載したりして実際に使用してもらい、その後、アンケート調査を行うことで、使用感や意見のフィードバックを得たい。

E. 結論

HIV 検査に携わる専門職向け「HIV 検査に関する Q&A 集」の作成に取り組んだ。本年度は収録する内容を精査し、原稿を作成した。次年度は編集・校正の後、デザインを決めて製本し、HIV 検査の現場に配付したい。

F. 健康危険情報

特になし。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

古林敬一、川畑拓也、小島洋子、森 治代. ダイナスクリーン HIV Combo で診断できた HIV 感染急性期の 1 例. 第 31 回近畿エイズ研究会学術集会、大阪、2017 年

川畑拓也、森 治代、小島洋子、中脇修二、飯島壮悟、須藤弘二、加藤真吾. 新しい HIV 確認検査試薬"Geenius™"の性能評価. 第 31 回近畿エイズ研究会学術集会、大阪、2017 年

廣井 聡、川畑拓也、古林敬一. 尿道炎の原因となったアデノウイルスの遺伝子解析. 第 65 回日本ウイルス学会学術集会、大阪、2017 年

川畑拓也、小島洋子、森 治代、佐野貴子、近藤真規子、須藤弘二、加藤真吾. 新しい HIV 確認検査試薬"Geenius™"の性能評価. "第 31 回日本エイズ学会学術集会、東京都、2017 年

川畑拓也、小島洋子、森 治代、駒野 淳、岩佐 厚、亀岡 博、菅野展史、近藤雅彦、杉本賢治、高田昌彦、田端運久、中村幸生、古林敬一、清田敦彦、伏谷加奈子、塩野徳史、後藤大輔、町登志雄、柴田敏之、木下 優. 大阪府における MSM 向け HIV/STI 検査相談事業・平成 28 年度実績報告. 第 31 回日本エイズ学会学術集会、東京都、2017 年

佐野貴子、近藤真規子、須藤弘二、川畑拓也、

小島洋子、森 治代、井戸田一朗、岩室紳也、立川夏夫、藤原 宏、長谷川直樹、加藤真吾. 新規 HIV 抗体確認検査試薬である Geenius HIV Confirmatory Assay の検討. 第 31 回日本エイズ学会学術集会、東京都、2017 年

長島真美、近藤真規子、北村有里恵、川畑拓也、松岡佐織、新開敬行、貞升健志. 全国の地方衛生研究所を対象とした HIV 検査に係るアンケート調査と精度管理. 第 31 回日本エイズ学会学術集会、東京都、2017 年

須藤弘二、川畑拓也、加藤真吾、他. Comparative Evaluation of the Bio-Rad Geenius™ HIV-1/2 Confirmatory Assay and the New LAV Blot 1 and 2 in the Japanese Population. 28th Regional Congress of the International Society of Blood Transfusion (ISBT), Guangzhou(広州), China, 2017

森 治代、小島洋子、川畑拓也. 急速な病期進行を伴う感染初期例群に検出された新型変異 HIV-1 の解析. 平成 29 年度地研近畿支部ウイルス部会、和歌山、2017 年

古林敬一、小島洋子、川畑拓也. RPR 陰性の第 1 期梅毒症例. 第 30 回日本性感染症学会学術大会、札幌、2017 年

川畑拓也、古林敬一、亀岡 博、安本亮二、中山周一、志牟田健、大西 真. 大阪府内において分離された淋菌株の薬剤感受性率の推移と多剤耐性の傾向. 第 30 回日本性感染症学会学術大会、札幌、2017 年

H.知的所有権の出願・登録状況（予定を含む）

①特許取得

なし

②実用新案登録

なし

③その他

なし